



# こんにちは 日本共産党です

**直接支援拡充の予定です**  
 新型コロナウイルス感染症の深刻な拡大を受けて、政府が緊急事態を再び宣言したことで、2020年度第3次補正予算案の中身が改めて問われます。

感染対策と銘打ち、一般会計の追加歳出21.8兆円という大規模なものです。しかし、直接支援を打ち切るなど、感染の収束が前提です。緊急事態宣言が宣言されるほど切迫した状況に見合ったものではありません。スガ政権は大至急、予算案を作り直し、直接支援を継続、拡充するものになければなりません。

持続化給付金、家賃支援給付金は、一回だけでは二度目の緊急事態に対応できません。何度も支給すべきです。雇用調整助成金の特例措置の延長は当然です。非正規労働者向けの休業支援金の対象を拡大し、要件の緩和も求められます。

あなたは今、未来が見えますか？「この世界で息を吸った瞬間」から「いま息を吐くこの瞬間」の「今」。  
 誰より私を大切にしてくれる家族。一緒に笑って一緒に泣いて「つまらない1日」を「とっておきの1日」にしてくれる大切な友達。2人だけの世界で「君以外いない」「死ぬまで一緒だよ」と、元気でいられるに言い合う大好きな恋人。大人になれない私たちの姿を見て「仏」のような笑顔で見守り、「鬼」のような形相で追いかけてくる怖くて優しい先生。あのコンビニの店員さん。お菓子屋のおばちゃんも、野菜屋のオマケも、空を飛ぶ鳥も、みんなみんな。今を生きる私達に未来は見えない？喜んでくれる時、悲しんでいる時、寂しい時、辛い時、幸せでいっぱいの日、空も飛べないような日、何もかもが上手くいかない日、忘れることのないあの日、消えてしまいたいと思った日、どんな人がどんな自分とどんな1日であったとしても私達を待つのは「未来」。もしかしたら私達「今」未来「が」近づいて来ていて、私達「今」が未来「を」待っているのかもしれない。もし「未来」がわかるなら、明日の天気を晴れにできるの？何が起るのか全部わかるの？全部全部わかるなら、それは楽しい日々になるの？それと全部全部わかるから、つまらない日々になるの？「未来」がどうなるのかわかる人がいるとすれば、それは神様だったり、ご先祖様とかだろうか、あるいは未来人かもしれない。もしかすると悪魔ではないだろうか。自分にとっての「今」は、もうすでに「未来」の自分、「今」の自分としての「未来」の自分はどんなだろうなんて、きっと誰にもわかるはずがない。でも、「今」の自分はとびきりの笑顔で笑い、ときには自分の弱さを認めるために涙を流している。家族や友達、そして恋人と笑っている。「今」の地球は、丸くて青く、空は果てしなく広く青く、どこまでも続き、海は果てしなく広く深く、青く輝いている。上を見上げると太陽が輝き、足元を見ると自然が広がっている。「未来」の地球は丸くて青いままですか？空は果てしなく広く、どこまでも輝いていますか？海は果てしなく深く青く、輝いていますか？「未来」の自分はとびきりの笑顔で笑っていますか？弱さを認めるために笑っていませんか？誰の腕で笑っていますか？過去の自分に訊いてみたい。今の私はあなたが思い描いていた「未来予想図」にうまく色をつけていられますか？今はまだ見えていない「未来予想図」。それは「見えないといけないもの」なのか。じつは「見えないといけないもの」ではないのか。未来の姿を想像するのは難しいけれど「根拠のない夢」と「根拠のある期待」だけを抱え「つまらない人生だ」と笑いながら、明日もまた未来予想図に色をつけていくのだろうか。「今の私」は、心の中に眠る「子供心」をありのままに描きだした「未来予想図」をここに残します。「綺麗な絵だね。」と書いてね。「今の私」が、大人に近づこうと背伸びをして、少し大きめに描きだした「未来予想図」をここに残しておきます。「綺麗な色を使うね。」と書いてね。今はまだ未完成で未来を「そうそう」することくらいしかできないけれど、今だからこそ「想像」できる未来がある。今だからこそ「創造」できる未来もある。だから、今の自分を忘れないように想像し続けたい。笑っている私を創造し続けたい。私の「未来予想図」が完成するその日まで。

## 未来予想図

和歌山高等学校 デザイン表現科卒業制作展  
 ・市高展開催のご案内  
 1月21日(木)～1月25日(月)  
 9:30～16:30 (最終日は12:00まで)  
 会場 県民文化会館 大・中・小・特設展示室  
 ◎ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。  
 発熱など体調の悪い方はご遠慮ください。

## 和歌山市国保学習会

国保料、高いのはなぜ？  
 運営が和歌山県になっているけど財政は？  
 和歌山市独自の減免制度の確立は？  
 払える国保料に！ (市社保協主催)

日時 1月30日(土) 午後1時45分～  
 会場 和歌山市勤労者総合センター6階文化ホール  
 講師 寺内 順子さん (大阪社保協事務局長)

## 潮流

中止や延期、オンライン開催と様変わりする今年の成人式。  
 ①おとなになったこと  
 を自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝い励ます。清水の舞台がこんなことになりました。▼21世紀の始まりとともに歩んできた120万の若人。情報革命の波や、目まぐるしい時代の変化のなか、インターネットやSNSを通じた他者や社会とつながる機会が増えた世代です。また相次ぐ震災や異常気象も経験してきました▼相手の気持ちや理解したい、困っている人の手助けをしたい。そうした意識やボランティアへの興味関心が高いことも政府の調査からうかがえます。支え合いのなかに生きる意味を見いだす動きも▼コロナ禍にあえぐ人たちに食料を無償配布するフードバンク。とりくむ若者のなかに

はみずからも苦しい思いを抱えながら、もっと大変な人たちがいる、少しでも力になれたらと参加する輩がおりました▼小学生のときに東日本大震災で津波にあつたという女性は、つらくても、あきらめないことを学んだと話していました。くじけそうになったとき、周りの人に生きる勇気をもたらした。こんどは自分こそという存在になりたい▼コロナで大切なことに気づかされた、さまざまなたがりを強く意識できた、私もヤキいじめをもち誰かの力になれるようがんばる。運動サイトに公開された成人のメッセージです。大きな不安のなかで船出する若人。その背にエールを送り、手を携えて困難を乗り越えたい。

日刊 3,497円/月  
 日曜版 930円/月  
 したがって全員の普及に協力をお願いします。